

# 中の島地区連合町内会ニュース

第48号

発行：中の島地区町内会連合会  
発行日：平成23年2月28日

1995年1月17日に阪神大震災が発生してから16年経ちました。最近では札幌でも清田真栄地区で直下型の地震が起きており、普段からの避難準備が必要です。こうした中で2月22日にはニュージーランドで大地震が発生し、未だに多くの行方不明者が報告されています。一刻も早い不明者の救出と無事を御祈念したいと思います。



## 中の島アイスクャンドル大作戦2011



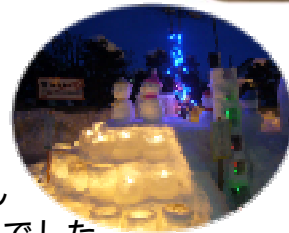
「中の島魅力ある地域づくりの会」(まちづくり協議会)が中心となり1月24日(月)～26(水)まで なかのしまアイスクャンドル大作戦2011 が開催されました。中の島地区では4回目となるアイスクャンドル大作戦です。

寒い冬季間にキャンドルの“ほのかな暖かさ”を感じてみませんかということで、今回は4000個のろうそくを用意して中の島の町内会全てでこのイベントに取り組みました。一区では5回に及ぶ幹事会を開催し、中の島小学校(嶋田校長)と協働して700個のアイスクャンドルを製作しました。点灯式には二木豊平区長ほか荒井昭吾さん(元ファイターズ内野手)にも参加していただきました。

二区では尚志学園高校のラグビー部、サッカー部を中心に50名の生徒と町内会有志で雪山を作成しイベント会場を整備しました。子供たちには雪の中の「宝探し」ゲームを行ったり、チューブ滑りを体験し、小学生から高校生まで世帯間を超えて楽しみました。

三区では滝の島公園(2-10)、豊見公園(1-12)に直径10mに及ぶスノーサークルを作成し、小学生で賑わっていました。土台作りに1週間も作業した三区町内会の皆さん本当に御苦労さまでした。

各会場では寒い中でのコア・甘酒・お菓子などが振舞われ盛況のうちに終了しました。



## 中の島神社に関する質問状提出

中の島神社は明治 10 年に地元住民により三神の祠を祀りはじめ、大正 3 年には部落民により現在地（中の島 2 条 3 丁目）に移動し、以来 100 年近く、宮司もなく有志の尽力によりお祭りや参拝関連行事を独自に行っている特殊な神社です。

昭和 26 年ごろには、北海道水産孵化場から祭神の“ 厳島神社守護 息災所 ”（弁天宮命）を遷宮し中の島神社に合祀され、現在は四神を祀っています。

当該地には昭和 38 年から 54 年までの間、河川占用許可を受けて占用料を支払ってまいりましたが昭和 54 年 8 月に国有財産の譲与により北海道の第二種普通財産に引き継がれた以降は用地売却方針となりました。しかしながら高額な用地費のため交渉は暗礁に乗り上げて、以降 32 年間に 2, 3 度の交渉はありましたが、打開策がなく現在に至っています。

平成 22 年になり土地の賃貸借契約案を提示されましたが、100 年近く神社をお守りしていた有志の皆さんには、素直に割り切れない思いがあります。



## 札幌ドームシャトルバス要望書

今年は北海道日本ハムファイターズの本拠地である豊平区はもとより中の島地区でもスーパールーキー“ 斎藤祐樹 ”の入団で空前の盛り上がりを見せております。中の島地区には、特にコアなファンが多く、沖縄キャンプに行くファンや札幌ドーム開催の 58 試合全部を応援する年間シート所有者やファイターズ応援のため試合のたび札幌ドームに足を運ぶ熱心な住民が多数住んでおり、また、昨年度は札幌市児童会館プロジェクトに 420 名の応援団を組織するなどして“ プロ野球観戦 ”を通じた地域振興に力を入れているところです。

このため、平岸発の札幌ドーム直行シャトルバスを「中の島経由」にしてもらいたい旨じょうてつバスにお願いしました。



じょうてつバス 川端所長

## とよひらおもしろスノーパーク

2月6日(日)月寒公園坂下グラウンドで第5回とよひらおもしろスノーパークが行われました。

会場では、チューブ滑りやキックターゲット、バスケット、そりでカーリング、ぬりえコーナーなど学生ボランティアの皆さんが盛り上げ子ども達は寒いのも忘れ楽しんでいました。

なかでも毎年白熱するのがスノーファイト（雪合戦）で、今年も中の島チームが参加しました。結果は全敗でしたが力を合わせて頑張りました。



開会式 区長挨拶



問合わせ先 中の島まちづくりセンター 中の島 1 条 4 丁目 9 - 4 821 - 5841

中の島魅力ある地域づくりの会ホームページ <http://www.nakanoshima.jpn.org/>